

知事コメント

(東海北陸自動車道 財政投融資を活用した4車線化の候補箇所選定について)

令和4年3月4日(金)

富山県知事 新田 八朗

本日、国土交通省において、財政投融資を活用し、暫定2車線区間の安全性・信頼性等の向上のため、4車線化を実施する候補箇所が公表され、東海北陸自動車道では富山県の福光ICから南砺SIC間(延長約4.6km)が選定されました。今後、国において、予算成立後の事業許可に向けて、必要な手続きが進められます。

今回、選定された区間が事業化されれば、県内すべてが4車線で事業化されることとなり、大変喜ばしい限りです。

これもひとえに、国会議員・県議会議員の先生や国土交通省、市町村長、経済界をはじめとする関係の皆様のお力添えの賜であり、深く感謝申し上げます。

「北陸の十字路」たる本県のさらなる発展のためには、東海北陸自動車道の早期全線4車線化の実現が必要であり、事業中区間の整備促進、残る飛驒トンネルの早期着手に向け、岐阜県や沿線市町村、経済団体と連携し、国などに積極的に働きかけてまいります。